パーカッション機材申告シート 記入用

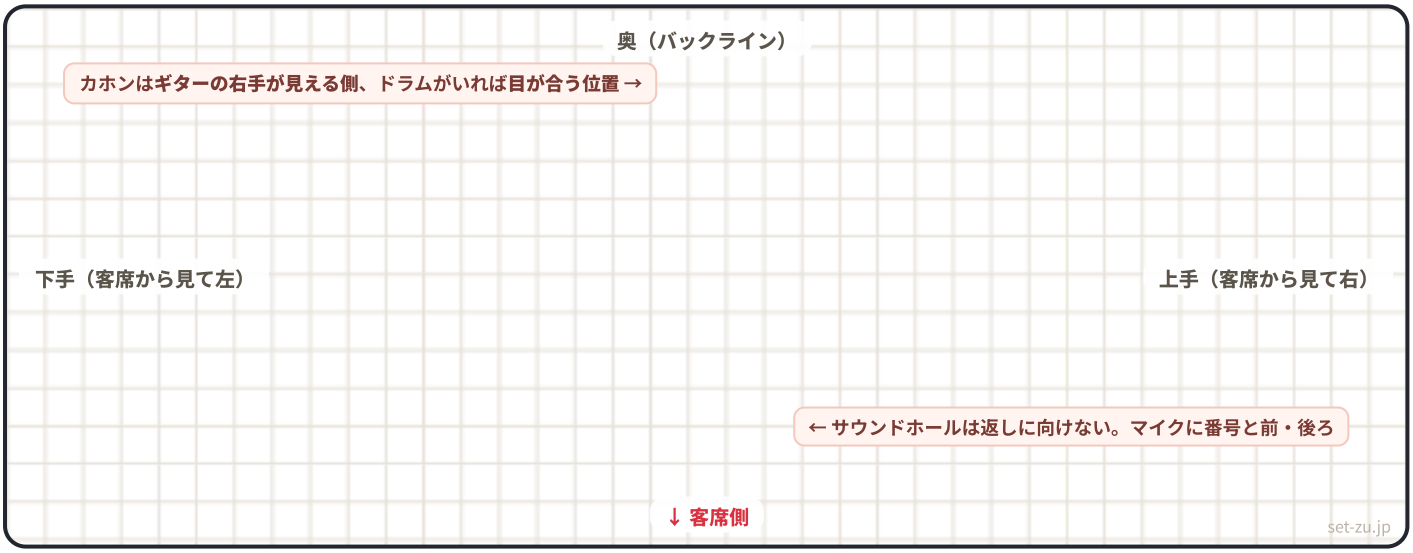
カホンは**前・後ろの2本**が希望、**1本でも可**
持込は**端子・48V・DI**を申告
置き場所は**ギターの右手が見える側**

バンド名（出演名義）	出演日・会場・イベント名	代表者名・連絡先（電話/メール）	パーカッションの楽器（カホン・コンガ…）

① マイク・ピックアップごとの表（1行＝マイク1本。番号は下手から①②③…）

番号	楽器	拾い方（会場マイク／持込・機種）	位置（前・後ろ・中・上）	電源・DI（48V／電池／DI）	備考
①					
②					
③					
④					
⑤					
⑥					

② 置き場所（上手・下手は客席から見た向き。サウンドホールは返しに向けない）



書き方： マイク＝1本（番号・前／後ろ／上・会場／持込を添える）　四角＝カホン・アンプ・台　丸＝コンガ・ドラム

台形＝返し　持込は「48V」「DI」も注記

③ 座る・本数・返し・電源

座る・敷く・置く	マイク本数（希望／最小）	返しの台数と欲しい音	48V・電池・DI
カホンは椅子不要。マット・小物の台	例：2本希望・1本でも可	歌と合わせる相手。カホンは少し	XLR なら48V、フォンなら DI

このテンプレートは印刷・配布・改変自由（無料）。**スマホで1分で作るなら → set-zu.jp/app/**

© セット図くん（LOCAL POWER株式会社） set-zu.jp

パーカッション機材申告シート 記入例

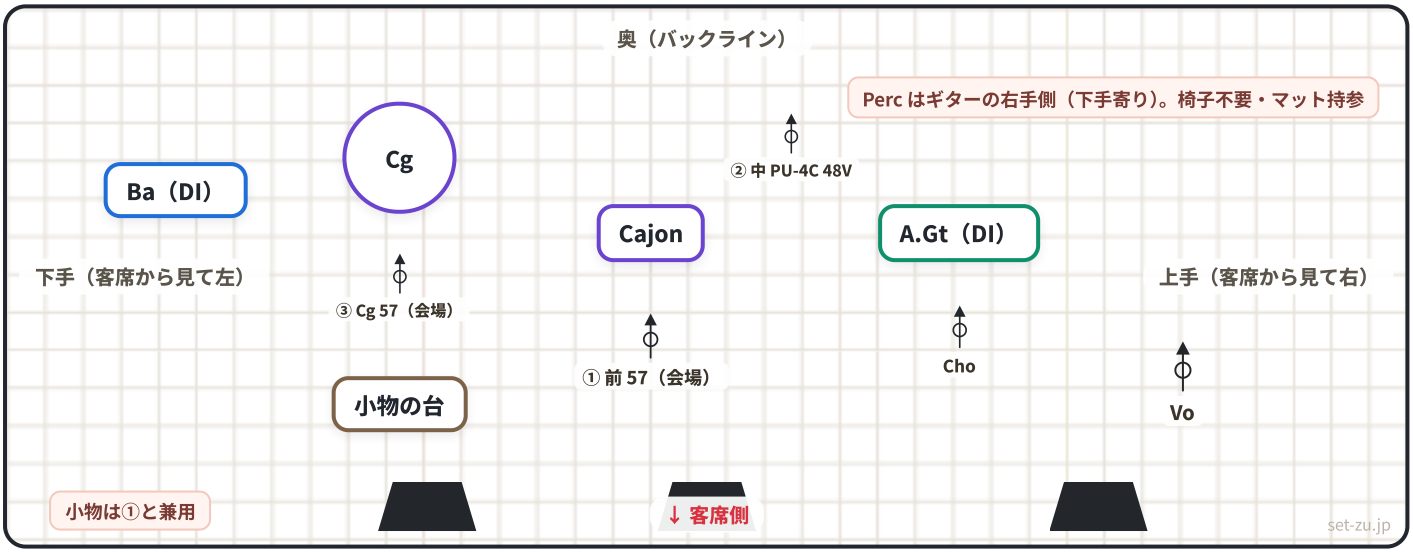
記入例：4人編成・カホン＋コンガ1・対バン25分
希望3本／最小2本・返し1台を共有
②だけ内蔵マイク持込（XLR・48V）

バンド名（出演名義）	出演日・会場・イベント名	代表者名・連絡先（電話/メール）	パーカッションの楽器（カホン・コンガ…）
ソラノオト（4人）	11/15（土）◯◯カフェ＆ライブ・対バン25分	佐藤 090-0000-0000	Vo・Gt・Ba・Perc（カホン・コンガ1・小物）

① マイク・ピックアップごとの表（1行＝マイク1本。番号は下手から①②③…）

番号	楽器	拾い方（会場マイク／持込・機種）	位置（前・後ろ・中・上）	電源・DI（48V／電池／DI）	備考
①	カホン	SM57（会場）ブーム	前（打面から15〜20cm）	不要	メイン
②	カホン	ARCO PU-4C（持込）	中（穴から置く）	XLR・48V	低音の足し
③	コンガ（1台）	SM57（会場）ブーム	上（打面）	不要	立奏
④	シェイカー・タンバリン	①と兼用	—	—	小物の台を持参
⑤					
⑥					

② 置き場所（上手・下手は客席から見た向き。サウンドホールは返しに向けない）



書き方：マイク＝1本（番号・前／後ろ／上・会場／持込を添える）　四角＝カホン・アンプ・台　丸＝コンガ・ドラム
台形＝返し　持込は「48V」「DI」も注記

③ 座る・本数・返し・電源

座る・敷く・置く	マイク本数（希望／最小）	返しの台数と欲しい音	48V・電池・DI
椅子不要（カホンに座る）。マット持参。小物の台持参 カホンは椅子不要。マット・小物の台	希望3本（①③会場57＋②持込）／最小2本（①③） 例：2本希望・1本でも可	1台（Gt と共有）：歌とギター多め、カホンは少し 歌と合わせる相手。カホンは少し	②に 48V。電池予備あり。コンセントは不要 XLR なら48V、フォンなら DI

このテンプレートは印刷・配布・改変自由（無料）。**スマホで1分で作るなら → set-zu.jp/app/**
© セット図くん（LOCAL POWER株式会社） set-zu.jp

パーカッションのマイク早見表 本数・位置・持込・置き場所・リハ

コンガは**1台1本**（最小は2台で1本）
カホン1本は**前か後ろか PA に任せる**
返しは**歌と合わせる相手**

① 本数の早見表（希望と最小）

編成	希望（標準）	足りないとき（最小）
カホン1台	**2本**（前＝スナッピー側・後ろ＝サウンドホール）	**1本**。前か後ろのどちらかに。**どちらにするかは PA に任せる**
カホン＋小物	カホン2本＋小物用に**1本足すか、兼用か**を PA に聞く	カホン1本。シェイカー・タンバリンはそのマイクの近くで鳴らす
コンガ2〜3台	**1台に1本**（2〜3本）	**2台の真ん中に1本**。高く調律した方へ少し向ける
ボンゴ	**1本**。2つの打面の間へ、できるだけ近く	1本のまま（ボンゴは1本で拾う楽器）
パーカッションセット	太鼓に1本ずつ＋**上から1本**（小物・シンバル）	上から1〜2本でまとめる。**アンプと返しの音もかぶる**

カホン1本のとき、前に立てるか後ろに立てるかは解説によって分かれます（Kopf Percussion は「1本なら打面の前」、Sweetwater は「1本ならサウンドホール」）。会場の卓とマイクで決まることなので、申告には「2本希望・1本でも可」と希望と最小を両方書き、どちらに立てるかは PA に任せます。

② カホンのマイクの位置――前・後ろ・中

位置	拾える音	置き方
前（打面側）	スナッピーとアタック。1本ならいちばん自然な音（Kopf）	打面から**15〜20cm**、叩く範囲の中心へ少し向ける。2本なら高めに、膝の間のスナッピー付近へ
後ろ（穴）	低音（ボン）。1本なら穴に角度をつけて上と前へ向けると、スナッピーも入る	穴の**少し中**か、少し離す（〜約25cm）。**穴の真ん前は風でブーミー・歪む**
中（バウンダリー）	スタンド不要。**カホンが動いても位置が変わらない**。胴の響きで音は少し変わる	会場のキック用（Beta 91A など）を入れる方法。**会場に1本しかないことが多い**

③ ピックアップ・内蔵マイクを持ち込むとき

種類	例と電源	会場に伝えること
置くだけの内蔵マイク	例：ARCO PU-4C。**電池か48V**。加工不要で穴から中に置く	**XLR で出すなら48V**（電池不要）。フォン（ライン）で出すなら電池＋**DI 1台**
クリップ＋本体	例：Roland EC-10M。**単4電池4本で最大5時間**。穴にクリップマイク	出力が**2系統**（MIC/MIX・ELECTRONIC）。分けるなら**2ch・DI 2台**
ピエゾ（取付型）	胴に貼る・穴をあけて付ける。電源は機種による	出力端子（フォンか XLR か）を書く。**フォンなら DI 1台**
マイクマウント	例：Schlagwerk のマウント。**会場のマイクを穴に固定**する金具	「マウント持参・SM57 を1本お借りします」。揺れても位置が保てる

④ 置き場所（編成別）

編成	置き場所	理由・注意
弾き語り＋カホン	**ギターの右手（ストロークの手）が見える側**	右利きならギターの右＝**客席から見て下手側**（Kopf は「多くは stage right」）
ドラムのいるバンド	ドラムと**目が合う位置**（隣か斜め前）	ドラムのかぶりがあるので、**マイクは近め**に立ててもらう
パーカッションセット	上手か下手の**端にまとめる**	小物の台・シンバルを1か所に。動線（ケーブル）を空ける

カホンは「サウンドホールを返しに向けない（横へ向ける）」、「メインスピーカーの正面から少しずらす」の2つが、低音のハウリング対策の基本です（Kopf Percussion）。マイクのケーブルは、叩く腕と足の動きの外を通します。

⑤ リハーサルで確かめる順番

リハで確かめる順番	確かめること
1. 素の音で叩く	リバーブ・コンプなしの音で、PA がゲインとマイクの位置を決める（Kopf）
2. いちばん強い曲（スラップ・低音）	音量の上限。サウンドホールのマイクが歪まないか、低音でハウリングしないか
3. いちばん静かな曲	音量の下限。返しにカホンが出すぎていないか
4. 小物を本番の位置で	シェイカー・タンバリンは**本番と同じ距離・同じ向き**で鳴らす
5. バンドで1曲	ドラム・ギターのかぶりを聴く。かぶるならマイクを近づけてもらう
6. 返しの要望を1回	「ギターと歌を少し上げて、カホンは今のまま」のように1つにまとめる

このテンプレートは印刷・配布・改変自由（無料）。**スマホで1分で作るなら → set-zu.jp/app/**
© セット図くん（LOCAL POWER株式会社） set-zu.jp

会場の上限・文例・提出前チェック 3つの会場別／文例6種／12項目

ライブハウスの SM57 は**6〜7本**
希望と最小・会場と持込を
楽器ごとに分けて書く

① 会場ごとの上限

会場	上限になるもの	実例・注意（公開されている機材表ほか）
ライブハウス	**SM57 の残り本数・DI の台数**	新宿SAMURAI：SM57×6・Beta91A×1・DI 10台。京都GROWLY：SM57×7・DI 6台。**ドラムのいる日は 57 がスネア・タムに回る**
カフェ・バー	**小型 PA の ch 数**	歌とギターで ch が埋まると、**カホンは1本か、置くだけの内蔵マイク**になる。家庭用の小型アンプはハウリングしやすい
学祭・野外	**電源と電池**	電池駆動の機材は**予備の電池**を。EC-10M は単4×4本で最大5時間。マイクのケーブル長も確かめる

ライブハウスの SM57 は6〜7本が公開機材表の実例で、ドラムのスネア・タムやギターアンプにも使います。ドラムのいるバンドにパーカッションが入る日は、カホン2本＋コンガ2本が全部は通らないことがあるので、申込には希望と最小を分けて書きます。

② 備考欄の文例（コピーして使えます）

こういうとき	備考欄にこう書く
カホン・会場のマイク	カホン1台。マイクは**前・後ろの2本希望、1本でも可**です（位置はお任せします）。椅子は不要です
内蔵マイクを持込	カホンは内蔵マイク（ARCO PU-4C）を持ち込みます。**XLR 出し・48V をお願いします**。会場のマイクは不要です
EC-10M を使う	カホンに Roland EC-10M（電池駆動）を付けます。出力2系統（MIC/MIX・ELECTRONIC）なので**DI 2台**お借りします
コンガ2台＋カホン	Perc：コンガ2台（**1台1本、足りなければ2台で1本**）＋カホン1本。立奏です。マットを持参します
マイクが足りない	カホンは**1本で大丈夫**です（前か後ろかはお任せします）。シェイカー・タンバリンは同じマイクの近くで鳴らします
小物を持ち替える	シェイカー・タンバリンは曲ごとに持ち替えます。**小物用に上から1本**あると助かります（なければカホンのマイクで兼用）

③ 提出前チェック（12項目）

マイク・ピックアップ

- ☐ **楽器ごとの本数を希望と最小で書いた**
  「2本希望・1本でも可」
- ☐ **カホンのマイクは前・後ろ・中のどれかを書いた**
  1本なら PA に任せてよい
- ☐ **持込のピックアップは機種名・端子・電源を書いた**
  XLR なら48V、フォンなら DI
- ☐ **出力が2系統の機材は ch と DI を2つと数えた**

置き場所・返し

- ☐ **ギターの右手か、ドラムが見える位置にした**
  上手・下手は客席から見た向き
- ☐ **サウンドホールを返しに向けていない**
  横へ向ける
- ☐ **返しに欲しい音を書いた**
  カホンは少しだけ
- ☐ **椅子の要否・マット・小物の台を書いた**
  カホンは椅子不要

会場・当日

- ☐ **セット図にマイクの番号と位置を書いた**
  下手から①②③…
- ☐ **回線表にマイク1本＝1chで書いた**
  ピックアップも1ch
- ☐ **電池駆動の機材は予備の電池を入れた**
- ☐ **リハでいちばん強い曲と静かな曲を叩く**
  上限と下限を決める

ドラムの代わりにカホンへ持ち替える日（アンプラグド）は、編成ごと変わります。この1枚は、パーカッションを持ち込んで叩く人の申告用です。

ファイル名の型
バンド名_出演日_パーカッション申告.pdf
例：ソラノオト_1115_パーカッション申告.pdf（会場が探しやすい）

セット図くんで作るなら
カホンとコンガの記号を置いて、マイクに番号・前／後ろ・会場／持込を書き添えるだけ。PDFと共有URLでそのまま提出できます（set-zu.jp/app/・登録不要）

このテンプレートは印刷・配布・改変自由（無料）。**スマホで1分で作るなら → set-zu.jp/app/**

© セット図くん（LOCAL POWER株式会社） set-zu.jp